

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、腎臓小児科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題の実施に利用しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用して欲しくない」と思われた場合にも、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 小児腹膜透析患者の臨床像と腹膜病理所見の関連性の解析

[研究対象者] 東京女子医科大学腎臓小児科に通院または入院し、15歳以下の時に維持腹膜透析を施行され、その後、1992年1月から2028年1月までの間に腹膜生検を施行された方を対象とします。

[利用している診療情報等の項目]

年齢、性別、腹膜生検をされた年齢、腹膜透析を施行した年数

腹膜透析の処方内容（酸性液の使用の期間、イコデキストリンの使用の有無、高濃度液（ブドウ糖 4.25%）の使用の有無）、腹膜炎の罹患回数

腹膜病理検査の病理所見

[利用の目的] （遺伝子解析研究： 無 ）

小児期に腹膜透析を施行された患者さんについて、腹膜透析の処方の内容や期間と、腹膜の病理像を比較することで、腹膜機能の低下と関係がある項目を調べて、今後の腹膜透析の合併症の予防に役立てることを目的とします。

[利用期間] 承認日～西暦2028年2月29日

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には**匿名化処理を行い**、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者： 腎臓小児科 准教授 三浦健一郎

研究内容の問い合わせ担当者： 腎臓小児科 助教 白井陽子

電話：03-3353-8111（内線34111）（応対可能時間：平日9時～16時）

Eメール：shirai.yoko@twmu.ac.jp